

平成 17 年 12 月 8 日
新日本製鐵株式會社
住友金屬工業株式會社
株式會社神戸製鋼所

新日本製鐵(株)・住友金屬工業(株)・(株)神戸製鋼所間の相互の株式追加取得、 及び連携深化・推進について

1. 相互の株式追加取得について

新日本製鐵(株) (所在地：東京都千代田区、社長：三村 明夫、以下 新日鉄) 住友金屬工業(株) (所在地：大阪府中央区、社長：友野 宏、以下 住友金屬) (株)神戸製鋼所 (所在地：神戸府中央区、社長：犬伏 泰夫、以下 神戸製鋼) は、本年 3 月に、連携施策をより一層、円滑かつ着実に検討・実行していくことを目的とした相互の株式追加取得の検討を開始致しました。本年 6 月には株式追加取得について合意し、以降、株式の取得を進めてまいりましたが、今般、予定していた取得を完了致しました。

(1)新日鉄・住友金屬間

新日鉄は、前回分 (平成 14 年度) と併せ住友金屬株式の 5.01% を保有致しました。

- ・新日鉄の住友金屬における出資比率 本年 3 月末：2.55% 今回：5.01%
- ・株式追加取得金額：約 310 億円

住友金屬は、新日鉄が株式追加取得した金額とほぼ同額の神戸製鋼株式を追加取得致しました。

- ・住友金屬の神戸製鋼における出資比率 本年 3 月末：0.52% 今回：1.81%
- ・株式追加取得金額：約 310 億円

(2)新日鉄・神戸製鋼間

前回 (平成 14 年度) と同額の約 30 億円の株式追加取得を相互に実施致しました。

- ・新日鉄の神戸製鋼における出資比率 本年 3 月末：1.80% 今回：2.05%
- ・神戸製鋼の新日鉄における出資比率 本年 3 月末：0.29% 今回：0.41%

(3)住友金屬・神戸製鋼間

前回 (平成 14 年度) と同額の約 30 億円の株式追加取得を相互に実施致しました。

- ・住友金屬の神戸製鋼における出資比率 本年 3 月末：1.80% 今回：2.05%
- ・神戸製鋼の住友金屬における出資比率 本年 3 月末：1.52% 今回：1.71%

2. 連携深化・推進について

3 社では従来の施策に加え、以下の通り連携施策を推進しております。

本年 4 月から、新日鉄・神戸製鋼は住友金屬への熱延鋼板供給協力を、また、神戸製鋼は住友金屬へのチタン薄板の熱間圧延協力を開始しました。

住友金屬の鉄源設備共同利用に関しては、既に住友金屬から新日鉄への鋼片供給を開始し、今後、神戸製鋼への供給も開始してまいります。また、需要の堅調な高級鋼分野も対象として、順次、数量・鋼種の拡大を図っていく予定であります。

(本年 6 月、東アジア連合鋼鐵(株)に新日鉄が 10% (34 億円)、神戸製鋼が 2% (7 億円) を出資済)

これらの相互の生産補完関係は、各社の効率的な生産体制構築に大きく寄与するものであります。

更に、以下の項目についても合意し、具体的施策の検討・実行を推進しております。

製鉄分野における、コスト競争力強化、国際的な技術水準の向上を狙いとした相互技術供与に
向けての具体的な取り組み

相互の資材調達コスト削減に向けた具体的な取り組みの開始

上記に加え、

新日鉄・住友金属間では、

環境・リサイクル面での協力の一環として、新日鉄にて廃プラスチックを事前処理し、住友金
属にてコークス炉へ装入し処理（平成 18 年度上期より実行開始予定）

災害時に備えたシステムのバックアップ体制に関する共同での取り組み

両社グループ会社間でのロール事業の統合（本年 9 月 28 日発表の通り）

等を推進しております。

新日鉄・神戸製鋼間では、

環境・リサイクル面での共同対応施策を検討中であります。

なお、昨今の資本市場の変化への対応に関しては、各社が各々で取り組むことが基本となります
が、買収防衛策をめぐる法制等の動向を踏まえ、3 社連携の中でも継続して研究・検討致します。

3 社は、今後も引き続き、更なる連携の拡充・深化を検討・推進し、各々の一層のメリット拡大
を追求してまいります。

以 上

本件に関するお問い合わせ先

新日本製鐵(株) 総務部広報センター TEL 03-3275-5021,5022

住友金属工業(株) 広報・IR 部広報グループ TEL 03-4416-6115

(株)神戸製鋼所 秘書広報部広報グループ TEL 03-5739-6010